

LLT-M



概要

「LLT-M」(MODEL-4189)は、孔内水平
載荷試験装置で、ボーリング孔内にゾンデを
挿入し、高圧ガスを圧力源とする圧力水をゴ
ムチューブに送水し加圧膨張させ、ゾンデ内
部の圧力とゴムチューブの膨張量との関係よ
り地盤の変形特性を求める装置です。

地上の計測部分は、加圧水発生用タンク、
圧力計、容量計、バルブなどより構成されて
います。「LLT-M」の大きな特徴は、3種の径
の異なるゾンデが使用できることで、孔径に
応じたゾンデを用いて測定することができます。

特長

- ◆ ボーリング孔径に合わせてφ60mm、
φ70mm、φ80mm のゾンデが使用でき
ます。
- ◆ 使用ゾンデ・地盤の硬軟などに合わせて
送水量が調整できるように、送水タンク
が4本に分けられています。
- ◆ 4本の送水タンクはバルブによりタンクの
使用本数を変えることができ、送水量を
調整できます。径の異なる3種のゾンデ
を使用しても同じ精度で測定することが
できます。
- ◆ 載荷能力は最大2.5MPaです。
- ◆ 本体が一つのケースに収納されていま
すので、持運びが大変便利です。

※届出について

LLT-Mは「高圧ガス保安法」で規定する「高圧
ガス製造設備」に該当します。設備するに当た
っては、高圧ガス製造事業者として都道府県知
事の許可または都道府県知事への届出が必要
です。